

# 見て、触れて、感じよう！

## 美しいびわの自然

### 長浜市立びわ北小学校

「いのち・文化・環境」を視点に、ふるさと『びわ』から学べる子をめざしたい。

#### 1 はじめに

本校は、琵琶湖東2kmに位置し、東の峰々に伊吹山を仰ぎ、西に竹生島を臨む。四季折々の変化を見せてくれる自然豊かな地域にある。校区にある早崎内湖は、1970年までに食料増産などで堰き止められて水田化(約70ha)されている。その後、内湖復元の話が持ち上がり、手始めとして2001年、17haに水が張られてビオトープ化し、多様な水生生物を再生し、内湖の状態に戻す市民活動が続いている。

本校では、今年で10年目になるビオトープ学習は、4年生が総合的な学習の時間25時間を使い、一年間を通して学習を行っている。

#### 2 具体的な実践例

(1)4年「早崎内湖の歴史」「早崎ビオトープの今後」「早崎ビオトープ四季の観察会 春・夏・秋・冬」



会長から早崎内湖の話聞く子

#### ア ねらい

身近な自然について深く知り、魚や野鳥、植物など、四季の変化にもなまって変わる生物に気づき、調べる中で自然を守るために自分のできることを考え、調べたことや自分の思いなどをまとめる。

#### イ 学習内容

早崎ビオトープ学習は、まず地域の専門家(市民活動団体『早崎ビオトープネットワーク』)を招いて、ビオトープについてのオリエンテーションをし、ビオトープとは何か、いかにしてこの17haもの広大なビオトープが作られたかを、早崎内湖の歴史を通して学ぶ。また、やまのこ学習で草野川の水生生物調査を行うとともに、地域の川を親子ふれあい活動などで調べ、早崎内湖との比較も行う。

特に早崎内湖は、四季ごとに実際に現地へ行き、季節ごとのビオトープの変化を沼地に入ったり、野鳥を観察したりすることで体感する。

#### ウ 実体験

地域の専門家(市民活動団体『早崎ビオトープネットワーク』)の会長に来ていただき、ペットボトルを半分の大きさにした魚捕獲器の作り方を教えてもらい、それをメンバーの方に仕掛けておいてもらう。後日、ペットボトルの仕掛けを引き上げ、網でもビオトープの生き物を捕った。



ペットボトルの仕掛けを教わる子

子どもたちは、この日初めて実際にビオトープで観察できる日ということもあって、期待に

胸を膨らませていた。生き物が捕れるたびに会長や会員の方に名前を教えていただいた。自分たちで捕まえた生き物ということもあり、熱心に聞き入っていた。地引き網体験もさせていただき、たくさんのボランティアの方（5～6人）にお世話になった。



魚の名前を教えてください

その後、学校へ帰り、持ち帰った魚をスケッチしたり、気づいたことをメモしたりした。持ち帰ったテナガエビは、1学期末まで学級で飼育した。

子どもたちは、生き物が大好きなので、ビオトープの学習を楽しみにしており、7月の観察会では、ビオトープ一面のハスやシラサギ、チョウトンボ、ガマが見られて、春とは違った景色に驚いていた。

10月の秋の観察会では、双眼鏡や望遠鏡を使い、渡り鳥の観察をすることができ、コハクチョウの群れやカイツブリがたくさん見られ、子どもたちからは、「うわー！」と歓声があがった。

コハクチョウの群れは、30羽ほどでその年に産まれた毛の色が灰色の鳥も見られた。子どもたちは、コハクチョウの群れに見入っていた。また今秋のびわ地区青少年育成市民の集いで『湖のまちミニフォーラム』では、児童代表がビオトープ学習ややまのこ学習・地域学習などの活動について発表した。

3月には、早春の観察会を行う予定で、春ならではのビオトープを体感できるはずである。

## エ まとめ

本校は、豊かな自然に囲まれた農村地帯であるが、河川や用水路が整備され本来の自然の姿は少ない。そんな中で早崎ビオトープは、自然

そのままの環境で、生き物あふれる姿を間近に感じられる場所である。子どもたちは、生き物や自然を好むが、環境問題や環境保全に対する認識や関心が低いので、実際にビオトープに入って観察したり、四季折々の変化を見たりすることで、より自然を身近に感じられる。

## (2) 4年やまのこ学習

草野川(水温が低く透明度が高いきれいな川)での水生生物調査や親子ふれあい活動での地域河川(弓削川)の水生生物調査と組み合わせることにより、より比較しやすく、「汚れている」や「きれい」といった認識がもちやすかった。

草野川は、水が透明できれいなところに住む魚が見られ、弓削川は汚れているといった感想を子どもたちは抱いていた。

## (3) 全校での取組

上学年(4～6年)は、琵琶湖一斉清掃で、琵琶湖岸のゴミ拾いを行っている。下学年(1～3年)は、校舎や学校周辺のゴミ拾いを行っている。また、一人一鉢栽培として、春と秋に苗を植えて水やりなどの世話をしている。



コハクチョウの群れ

## 3 おわりに

このような取組を通して、自然環境に関心を持ち、環境保全に主体的に関わろうとする子どもを育てられるようにしていきたいと考えている。

学校名	長浜市立びわ北小学校
住所	長浜市益田町56
電話番号	0749-72-2036
E-mail	biwakita@mx.bw.dream.jp